

第4章 予防接種事業

1 予防接種

予防接種は、これまで天然痘の根絶をはじめポリオの流行の防止等多くの疾病の流行の防止に成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど公衆衛生の向上に大きな役割を果たしてきました。

感染症が著しく蔓延し、大きな被害を与えていた時代が過ぎ去り、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちですが、国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが重要です。なお、平成17年7月より日本脳炎については国の指示により、接種の積極的勧奨は差し控えております。

平成18年4月から麻しん風しん(MR)混合ワクチンによる麻疹および風疹の2回接種制度が導入されました。平成20年4月からは、麻疹排除計画(5年間計画)として麻しん風しん(MR)混合ワクチンの接種対象者に中学校1年生と高校3年生が対象になり、MR第3期・第4期が追加され実施しています。

1) ポリオ(急性灰白髄炎)

対 象	生後3か月から90か月未満 (標準的接種年齢：生後3か月から18か月)
実施時期	5月、11月
会 場	保健センター
委託協力	芦屋市医師会
接種方法	41日以上の間隔をあけて0.05mlずつを2回経口投与(集団接種)
周知方法	告示、広報あしや、4か月児健診案内送付時に「芦屋市予防接種のご案内」を送付
根 拠	予防接種法

<単位：人>

実 施 月	対象人員	接種人員	接 種 率
20年5月	857	958	111.8%
11月	835	717	85.9%
19年5月	840	835	99.4%
11月	856	781	91.2%
18年5月	806	831	103.1%
11月	857	759	88.6%

2) BCG

平成19年4月1日より、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正に伴い結核予防法が廃止され、BCG接種が予防接種法に基づき実施されることになりました。

対 象	生後3か月から6か月未満 * 母子のどちらかに医学的理由があった場合、医師証明書と申請書兼同意書の提出にて集団接種可能(6か月以上1歳未満)
会 場	保健センター
接種方法	管針による経皮接種法(集団接種)
周知方法	広報あしや、4か月児健診案内送付時に「芦屋市予防接種のご案内」を送付
根 拠	予防接種法

<単位：人>

年 度	対象人員	接種人員	接 種 率
20年度	861	844	98.0%
19年度	915	855	93.4%
18年度	869	851	97.9%

3) ジフテリア・百日咳・破傷風(DPT)混合

対 象 生後3か月から90か月未満

実施時期 通年

委託協力 芦屋市医師会

接種方法 (1期初回) 20日から56日の間隔をあけて0.5mlずつを3回皮下接種
(個別接種)

(1期追加) 1期初回接種終了後、6月以上の間隔をあけて0.5mlを1回
皮下接種(個別接種)

規定の接種間隔をはずれた場合は任意接種を実施。

周知方法 広報あしや、4か月児健診案内送付時に「芦屋市予防接種のご案内」を送付

根 拠 予防接種法

<単位：人>

年 度	対象人員	1期初回				1期追加	合 計
		1回目	2回目	3回目	接種率		
20年度	832	843	863	900	108.2%	822	3,428
19年度	844	905	898	902	106.9%	835	3,540
18年度	859	872	876	812	94.5%	791	3,351

4) 麻しん風しん(MR)混合

対 象 (1期) 生後12か月から24か月未満

(2期) 5歳以上7歳未満で小学校就学前1年間

(3期) 中学1年生に相当する年齢

(4期) 高校3年生に相当する年齢

実施時期 通年

委託協力 芦屋市医師会

接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)

周知方法 広報あしや、4か月児健診案内送付時に「芦屋市予防接種のご案内」を送付、
各学校を通じて保護者に通知、3期・4期対象者には個別通知

根 拠 予防接種法

<単位：人>

年 度	時期	対象人員	接種人員	接種率
20年度	1期	845	817	96.7%
	2期	860	764	88.8%
	3期	727	590	81.2%
	4期	782	570	72.9%
19年度	1期	905	895	98.9%
	2期	845	734	86.9%

5) 日本脳炎

対 象

(1期) 生後6か月から90か月未満

(2期) 9歳以上13歳未満 (標準的接種年齢：小学4年生)

実施時期

通年(現在、接種の積極的勧奨は差し控えている。接種希望者は副反応についての説明を受け、同意書記入の上で接種)

委託協力

芦屋市医師会

接種方法

(1期初回) 6日から28日の間隔をあけて0.25ml(3歳未満)・0.5ml(3歳以上)ずつを2回皮下接種(個別接種)

(1期追加) 1期初回接種終了後,おおむね1年おいて0.25ml(3歳未満)・0.5ml(3歳以上)を1回皮下接種(個別接種)

(2期) 0.5mlを1回皮下接種(個別接種)

周知方法

広報あしや,各学校園等を通じて保護者に通知

根 拠

予防接種法

<単位：人>

年 度	期初回 1 回目	期初回 2 回目	期追加	期	合 計
20年度	70	67	61	35	233
19年度	76	79	76	17	248
18年度	8	6	13	1	28

6) ジフテリア・破傷風(DT)混合

対 象

11歳以上13歳未満(標準的接種年齢：小学6年生)

実施時期

通年

委託協力

芦屋市医師会

接種方法

0.1mlを皮下接種(個別接種)

周知方法

広報あしや,各学校を通じて保護者に通知

根 拠

予防接種法

<単位：人>

年 度	対象人員	接種人員	接 種 率
20年度	764	528	69.1%
19年度	753	363	48.2%
18年度	725	343	47.3%

7) 就学前の予防接種確認について

就学前健診日と同日に教育委員会と連携して実施
事業開始 平成16年度

<単位:人>

実施日	小学校名	対象人数	受診者数	予防接種完了者	MR2期未接種者	DPT未完了者	ポリオ未完了者	ほとんど未接種(主義)
10月22日	山手	172	124	32	90	5	0	3(3)
10月23日	精道	125	118	63	51	5	1	1(1)
10月24日	潮見	95	89	34	55	14	8	5(3)
10月27日	打出浜	90	89	44	38	5	3	0(0)
10月27日	浜風	60	58	32	25	7	1	1(0)
11月4日	宮川	123	125	63	59	16	3	0(0)
11月4日	岩園	124	121	61	55	16	3	3(1)
11月11日	朝日ヶ丘	91	76	33	40	6	6	3(3)
合計		880	800 受診率% 90.9%	362 45.3%	413 51.6%	74 9.3%	25 3.1%	16(11) 2%(1.4%)

8) 高齢者インフルエンザ

対象 65歳以上, 60歳以上~65歳未満で身体障害者手帳内部障害1級所持者
期間 平成20年10月15日~平成21年1月31日
費用 1回 1,000円
事業開始 平成13年度

<単位:人>

年度	対象者	10月	11月	12月	1月	接種者合計	接種率
20年度	20,734	1,194	5,686	2,411	1,186	10,477	50.5%
19年度	20,062	787	5,633	2,025	1,165	9,610	47.9%
18年度	19,337	599	4,589	1,925	1,048	8,161	42.2%